

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2019-126654 (P2019-126654A)

【公開日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)

【年通号数】公開・登録公報 2019-031

【出願番号】特願 2018-11753 (P2018-11753)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 T 1/161 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 5/50 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2017.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 P

A 6 1 B 5/05 3 8 0

G 0 1 T 1/161 D

G 0 6 T 1/00 2 9 0

G 0 6 T 5/50

G 0 6 T 7/00 3 5 0 B

A 6 1 B 6/03 3 6 0 Q

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 30 日 (2020.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

第 10 態様によれば、ランドマーク候補領域に設定された優先度の高い順にランドマーク領域を設定し得る。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 1 】

画像取得部

画像取得部 41 は、図 1 に示した画像データベース 16 に記憶される医用画像を取得する。画像データベース 16 は、モダリティ 14 を用いて撮像され医用画像が記憶される。本実施形態では、X 線撮像装置を用いて撮像された胸部 X 線画像、及び CT 装置を用いて撮像された頭部 CT 画像を医用画像として例示する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 2 】

画像取得部 4 1 は、同一の注目領域が含まれる第 1 医用画像 5 0、及び第 2 医用画像 5 1 を取得する。第 1 医用画像 5 0 の例として、任意の被検者の医用画像であり、過去に撮像された医用画像が挙げられる。第 2 医用画像 5 1 の例として、第 1 医用画像 5 0 と同一の被検者における現在の医用画像が挙げられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 0 】

医用画像取得工程 S 1 0 の後に、取得した医用画像からランドマーク候補領域を設定するランドマーク候補領域設定工程を実行してもよい。また、ランドマーク領域選択工程 S 1 6 の前に予め設定されているランドマーク候補領域を取得するランドマーク候補領域取得工程を実行してもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 8 7 】

図 1 4 は優先度設定画面の構成例を示す説明図である。図 1 4 に示した優先度設定画面 2 6 0 は、最も優先度が高い領域を指定する第 1 設定タブ 2 6 2、二番目に優先度が高い領域を指定する第 2 設定タブ 2 6 4、三番目に優先度が高い領域を指定する第 3 設定タブ 2 6 6、四番目に優先度が高い領域を指定する第 4 設定タブ 2 6 8、及び最も優先度が低い領域を指定する第 5 設定タブ 2 7 0 が表示される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 9 6 】

〔 2 〕

表示装置 2 4 に優先度設定画面 2 6 0 を表示させる。優先度設定画面 2 6 0 は入力装置を用いて領域の情報を入力可能な設定タブが表示される。これにより、入力装置を用いて、ランドマーク候補領域に対して優先度を設定することが可能である。